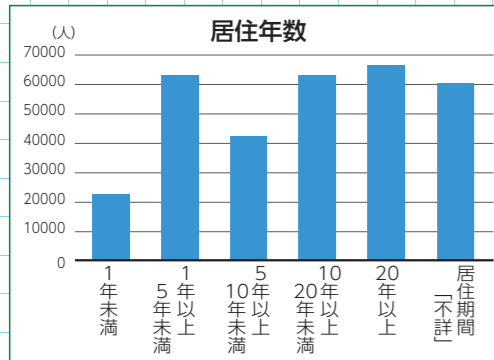




Q. 港北区に住み始めて何年？



若者層を中心に
年間で約 2 万 5
千人が転入転出
をしています

Q. 港北区に住み続けたいですか？
それはなぜ？

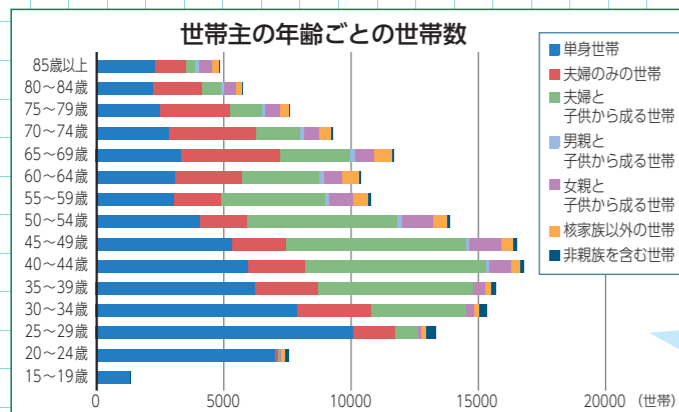
平成28年度に実施された「区民意識調査」
では、**4人に3人**が「(たぶんを含め) 住み
続ける」と回答しています。

港北区に住み続ける理由 トップ10

- 1 交通が便利だから
- 2 住んでいる場所に愛着を感じるから
- 3 買い物に便利だから
- 4 治安が良いから
- 5 緑や自然が多いから
- 6 病院が近くにあるから
- 7 地域の間人間関係が良いから
- 8 街並みなどの景観が良いから
- 9 公共施設が充実しているから
- 10 子育てや教育環境が良いから

港北区の世帯の特徴
・横浜市全域と比較して
単身世帯が多い。
・夫婦と子供だけの世帯
が多い。

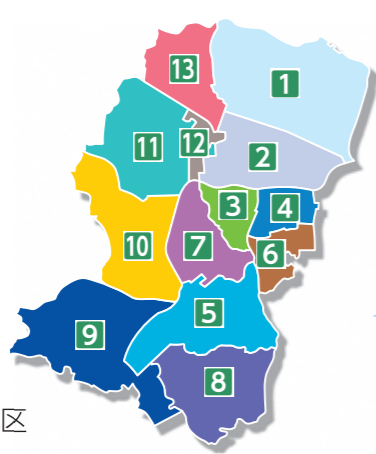
Q. あなたの世帯は？



Q. どこにお住まいですか？

港北区内13地区のエリア

- 1 日吉地区
- 2 綱島地区
- 3 大曽根地区
- 4 樽町地区
- 5 菊名地区
- 6 師岡地区
- 7 大倉山地区
- 8 篠原地区
- 9 城郷地区
- 10 新羽地区
- 11 新吉田地区
- 12 新吉田あすなろ地区
- 13 高田地区



自治会町内会

港北区には151の自治会町内会があります。
複数の町内会があつまり13の連合町内会を形成
しています。同じ地域に住む人が協力し合って
住みよい地域を目指して活動しています。

「ひっとプラン港北（地域福祉保健計画）」

港北区は「誰もが安心して健やかに暮らせる
まち港北」をめざし、「区計画」と地域の方々と
一緒に策定した「13の地区ごとの計画」の実現
に向け、取組を進めています。

地域はあなたの出番を待っています。あなたの力をお住いの地域で発揮してみませんか？
地域で人と人のつながりをつくるための活動に参加したい。何かはじめたいなど……あなたの「やる気」を応援します。

- ・港北区区民活動支援センター（区役所4階） ☎ 045-540-2246
- ・港北区ボランティアセンター（区社会福祉協議会内） ☎ 045-547-2238
- ・各地域ケアプラザ（区内に9か所あります）

港北区地域ケアプラザ



人とのつながりづくり、0歳からスタート!

35万人の港北区は、日本全体が人口減少社会に入っても、しばらくは増加傾向が続くことが予想されています。特に年間の出生数は約3,500人と市内最多で、0～5歳の子どもの人口比率が横浜市の平均より高く、そのほとんどが夫婦と子どもだけの世帯です。そして、0～3歳の子どもがいる世帯の共働き率が横浜市の平均を上回っています。

港北区では、高齢化対策とともに子育て支援に力を入れており、各地域で『両親教室』や『赤ちゃん教室』などを行っています。

そして、0歳からのつながりづくりをテーマに市民グループが主催する取組も広がっています。

MAMAsstyle プレママ&ビギママサロン

産前産後の母親が「育児グッズづくり(授乳ケープ、ベビースタイなど)」で情報交換や仲間づくりをすすめています。

【I ♥ Net (アイネット)】HP: <http://inet.yokohama/>



おしゃべりしながら育児グッズづくりにチャレンジ。

育児ミーティング

同じ立場のママが集まって、助産師さんと「育児ミーティング」を毎月開催しています。

「両親教室」「沐浴指導」「母乳・育児相談」「ベビーマッサージ」なども行っています。

【産前産後ママクラブ 100smile】

HP: <https://www.facebook.com/100smile.jp/>



同じ立場の人、相談できる人。つながるしあわせ感じます。

ウエルカムベビーコンサート



0歳の赤ちゃんパパ・ママ、
プレパパ・プレママで音楽を楽しみました。



7月16日に港北公会堂で行われた、0歳の赤ちゃん
とパパ・ママと、プレパパ・プレママを対象としたコ
ンサート。当日は助産師さんも立ち会って相談に乗っ
たり、地域の子育て情報コーナー、「背守り」手作り
体験、カフェなども用意されました。

【NPO法人ハッピーマザーミュージック】

HP: <https://www.happymothermusic.net/>

子どもたちの活動から学ぶ

取組1 ● 「まちづくり」

今 地域では自治会町内会、地区社会福祉協議会やNPO法人などさまざまな団体が多様な活動を行っています。地域によっては活動の担い手不足といった課題が生じています。



オルタ館キッズ・ミニしんよこ

新横浜で開催している子どものまちづくりワークショップ「オルタ館キッズ・ミニしんよこ」（今年は8月23・24日に開催しました）は、**子どもが主役**で「まち」を楽しむ遊びです。*

「きみがいるから、まちはイキイキする」「楽しくなければ、まちじゃない」を合言葉に、働く、暮らすなど子どもたちはまちづくりへの参加のステップを体験的に踏んでいきます。

子どもたちは、住みたいまちを思い描き、まちの仕組みについて学びます。

4月から8月にまちづくり会議を3回開催しました。

会議に参加する子ども市民は、昨年選出された市長、副市長、議員が中心です。どんなまちにしたいか、まちに必要なもの（公共施設やお店など）、まちの仕組み（働き方や税金、集会の運営など）を考え、8月の参加者を募集し、説明していきます。



まちづくり会議

子どもから学ぶヒント

まちへの愛着！

- ◆ 「ここに住み続けたい」
- 「このまちが好き」
- これが基本！！

まちを知る

- ◆ 散歩などのまち歩きから市民団体・グループの学習会への参加もおすすめです。

子どもたちは、お店をだすなど役割をきめて参加します。

8月の2日間で子どものまち「オルタ館キッズ・ミニしんよこ」をつくり、運営します。子どもたちはまちでアルバイトをして働く中で、給料や税金、市場のしくみ、ものづくりの面白さなどを体験していきます。



なにか問題が起きると選挙で選ばれた市長を中心に「集会」が行われます。



「子ども美術館」で、アートなミニシティを作ってみました。

「子どもってここがすごい」（スタッフの一言）

「はじめは競争心で店づくりやお金儲けに走りますが、次第にアルバイトができない子、所持金が少ない子に目を向け、助けたり、チャンスを与えたりする場面もできます。」

仮想のまちではなく、実際のまち取材し新聞を発行します。

もっと、もっとまちを知り、関心を広げるために情報を集め、発信しています。



まちの情報を共有する

- ◆ 掲示板、回覧、HP、SNSなど

【NPO法人フォーラム・アソシエ】 HP : <https://forum-associa.jimdo.com/>

* 「子どものまちづくりワークショップ」は、ドイツのミュンヘンが発祥の「子どもが創る遊びのまち—ミニミュンヘン」をモデルに、全国各地で取り組まれています。横浜市ではこの事例のほかNPO法人ミニシティプラス（都筑区）による「ミニヨコハマシティ」や「ミニつづき」の取組があります。

取組2 ● STOP! 「地球温暖化」

今 温暖化が原因で特に、大型化している台風や過去にない規模の豪雨による甚大な被害が日本で、世界で起きています。

温暖化対策は待ったなしの状況です！

大豆戸菊名打ち水大作戦

この取組は、平成18年にかつての菊名川を打ち水によって再現するイベントを契機に、平成22年度から「STOP! 温暖化」の啓発イベントへ、そして平成27年度からはLED化の調査など地域や家庭でのエコの取組の学習会へとステップアップしてきました。

現在では大豆戸町内会・子供会、菊名子どもクラブ、太尾学童保育クラブ、NPO法人びーのびーの、横浜北YMCA、個別港学舎、ワークショップピリオドなどの諸団体に活動の取組が広がっています。

「この取組が各家庭や地域に広がることを期待します。」と実行委員長の篠崎元彦さん。

なお、この夏に予定していた打ち水大作戦は台風の影響で中止となりました。



打ち水大作戦（昨年度の様子）



遊びの中で電気を学ぶ



地域の太陽光発電パネルを調査してマップをつくりました。

【大豆戸菊名打ち水大作戦実行委員会】 HP : <http://kikunagawa.net/wp/>

平成30年度

港北ほくほくフェスタを開催します！

地域の福祉保健の取組を推進するためのイベントです。

（昨年度の様子）



日時：11月2日（金）10：00～16：00（雨天決行）【入場無料・申込不要】

- 模擬店・バザー 【区役所中庭】10：00～13：30（売切り次第終了）
- 港北区社会福祉大会【港北公会堂：先着400名】13：00～13：45
- 「ひとつプラン港北」区民フォーラム

「知ってもらえたら心強い“障がい”のこと～本人の気持ち・家族の思い・支援者の願い～」

【港北公会堂：先着400名】14：00～16：00

「障がい児者と地域とのつながりづくり」をテーマに、当事者・家族等が語る地域への思いを知り、日常生活の中で出来る支援について考えてみませんか。

☆荒天時の実施可否は、当日9時に判断します。区ホームページを確認ください。

ひとつプラン港北の詳細は「ひとつプラン港北」で検索